

日本共産党・6月市議会の報告

豊田市議会 6月定例会の日程は、6月12日（金）から19日（金）までに、短縮して行われました。

豊田市議会 6月定例会最終日に、日本共産党の根本みはる市議がおこなった議案に対する討論の一部を紹介します。



GIGAスクール構想 急な前倒し タブレットより少人数学級を

昨年末、国の経済対策として打ち出された国のGIGAスクール構想。4月の突然の前倒しで整備が加速します。

GIGAスクール構想推進事業費について、タブレット

約4万台の購入費、校内LAN整備費とあわせた総額 40億7千万余の事業です。

今、真に求められるのは、長期の休校で孤独を強いられた子どもたちの気持ちを汲み取り、寄り添って声をかけ、心身のケアをおこなっていくことです。日本教育学会も10万人の教員の増員を提唱しており、豊田市では、小学4年生から6年生は少人数学級ではなく、1クラス40人規模の教室では新型コロナ対策も困難な状況の中、一層、教員の増員と少人数学級の拡大が求められています。



新型コロナ対策拡充を 中小企業等への支援の継続・増額が必要

令和2年度豊田市一般会計補正予算について、新型コロナウイルス感染の影響から必要な介護事業所廃業・倒産が心配される中、収入減となった場合の中小企業者等支援補助金は、対象の拡大、支援の継続・増額が必要です。

市議会6月定例会の一般質問中止に対し 市会議員3名が再考申し入れ

豊田市議会では6月定例会の一般質問の中止が、議会運営委員会で、近隣の他市に先んじて早々に決められ、新型コロナ対策と、職員の業務への影響を理由とした会期の短縮となりました。

諸派の市会議員3名は議会運営委員会に属さないことで、報告はされるものの意見を表明する機会はありません。

日本共産党の根本みはる市会議員は、「地方議会を休会および議事機関の主たる機能である一般質問を中止することは、憲法が定めた地方自治を損なうもの」として、岡田耕一議員（とよた市民の会）、中島竜二議員（心が聴こえる市政の会）と共同で、一般質問の中止について再考を求める申し入れを5月14日、豊田市議会の山田主成議長に行いました。

日本共産党の提言

学校再開にあたっての緊急提言（部分）——小中高の教員を10万人増員し、後述の学習支援員とあわせて、20人程度の授業をできるようにします。そのため継続的雇用など処遇を手厚くするとともに、多くの教職経験者から教員免許を奪っている教員免許更新制を凍結します。教室の確保のため、プレハブ建設や公共施設の利用をすすめます。私立学校にも私学助成を増額し、同様の措置をとります。——養護教諭をはじめとする教職員を増やします。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、学習や清掃・消毒・オンライン整備などのための支援員を第2次補正予算案の8万人余から十数万人に増員します。感染症対策の備品と設備は政府が責任をもって保障するようにします。——特別支援学校は、もともと設置基準がないもとの深刻な「密」となっています。

プレハブ建設などによる場所の確保と教職員などの増員を早急に行います。10万人の教員増は、日本の学校が少人数学級に移行するうえでのしっかりとした土台となります。現在の困難を乗り越えたあと、子どもたちに少人数学級をプレゼントしようではありませんか。



本多のぶひろ 11区予定候補

総選挙で日本共産党を伸ばして 野党連合政権を実現しよう

本多のぶひろ11区予定候補を先頭に

愛知県委員会は、今年秋にも行われる可能性のある解散・総選挙に向けて、本多のぶひろ11区予定候補を発表しました。日本共産党の躍進を勝ち取るため、全力で頑張ります。同時に、引き続き、野党共闘の努力をすすめます。

豊田民報

日本共産党の活動を紹介します。ご意見・ご感想をお寄せください。

2020年7、8月号外 発行：日本共産党豊田市委員会

◆豊田市日之出町1-6-6 TEL…34-4772

新型コロナウイルス感染症から

市民のいのち・暮らし・営業を守るための緊急要請

日本共産党

日本共産党の根本みはる市議と本多のぶひろ事務局長は、新型コロナ感染拡大が続く4月から5月にかけて、市に新型コロナウイルス感染症に関わる緊急要請をおこないました。

多くの飲食店、観光、宿泊など中小事業者が家賃・光熱費・賃金など固定費の支払いに追われながら、収入を絶たれました。国会での論戦を通じて支援が前進した一方、雇用崩壊による生活困窮者の急増も懸念されます。(以下、要請の主な内容。 → は実現した内容)



根本市議と本多事務局長

医療・検査体制

- ★PCR検査センターの設置
- ★患者を受け入れた医療機関に感染防止対策に関連して発生した費用の補償 → 国の第2次補正予算で計上
- ★医療機関が「発熱外来」を分離して設置できるように、設備にかかる費用の補償
- ★軽症者の宿泊療養施設での隔離場所の確保。

暮らし・経営

- ★事業者の資金繰り支援の拡充 → 信用保証料の補助、県の協力金の対象外の事業者への支援金
- ★電気、ガス、水道などライフライン料金の補填制度 → 水道の基本料金4か月分の免除が実現
- ★売り上げが激減している事業所への固定費の国の補償 → 家賃給付金の実現
- ★雇用調整助成金が迅速な手続きの簡素化を。
- ★フリーランスや雇用保険未加入の非正規労働者への支援の仕組みを。

子どもへの支援

- ★給食費無償化を → 10月末までの無償化実現
- ★就学援助世帯への給食停止中の給食費相当の支給。 → プレミアム商品券の配布
- ★学校休校中の給食の提供。食材にかかわるすべての業者への財政的支援。
- ★スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、養護教諭と連携し、子どもの健康、心理状態を把握しケアを。児童虐待などのリスクをかかえた家庭の状況の把握、関係機関との連携。
- ★学校、放課後児童クラブ、児童デイサービス、こども園など子どもの居場所になる施設への大人用マスク、子ども用マスク、アルコール消毒液、非接触体温計など、感染防止に必要な備品の整備を。

6月議会 議案に対する各派・議員の賛否

以下の議案のほかに、地域医療センター放射線機器の購入契約、豊田市文化会館の修繕工事契約など、33議案と、「地方財政の充実・強化を求める」議員提出意見書が審議され、日本共産党の根本みはる市議は、4議案に反対、29議案に賛成しました。

| | 根本市議 (日本共産党) | 自民クラブ・ 28人 | 市民フォーラム 10人 | 公明党市議 団4人 | 岡田市議 (とよた市民の会) | 中島市議 (心が聴こえる 市政の会) |
|---|-----------------|---------------|----------------|--------------|-------------------|--------------------------|
| 豊田市国民健康保険条例の一部を改正する条例・・・傷病手当金が国民健康保険でも支給される | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 地域医療センター放射線機器購入の契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 豊田市文化会館の舞台設備修繕工事契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度一般会計補正予算…少人数学級拡大より、タブレット配布を優先する補正 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (仮称) 豊田市博物館新築準備工事を進める議案…今後の地域経済の見通しが不透明な現時点で、総額88億円もの本事業は、計画の見直し・工事着工の延期をすべきであり、反対。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 豊田市営松平志賀住宅を岩倉住宅と統合し、建て替え後の戸数は50戸で建替え前より22戸減の上、建設・管理をPPP方式に委ねるため、反対。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 学習用タブレット購入を前倒し、一括購入する契約 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

ホームページを
ご覧ください

日本共産党豊田市議団

検索

ご意見をお寄せ下さい
mail@jcp-toyota.org

TEL 34-4772
FAX 34-4844